

令和6年度長久手市行政評価票（A票：事業評価表）					対象年度		令和5年度		
事業番号	69	事業名	教育支援センター事業 （大事業名） 教育支援センター事業		担当課		教育総務課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-1-1-1 教育支援センター事業		
					決算書ページ		197	～ 198	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち		事業開始の背景	全国的な問題である不登校の対策として、学校生活になじめない児童生徒の学習機会を確保し、支援の中核的な役割を果たしていくため、教育支援センターを設置している。		
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備					
		施策	(2)	安心して子どもが過ごせる場の整備					
	その他	開始年度		H13年度		市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可	
		終了予定年度		☐ 年度	☒ 未定				
		根拠法令等		長久手市教育支援センター条例					
		関連計画		教育振興基本計画					
	事業の概要・目的	アウトプット（詳細はⅡへ）				アウトカム（詳細はⅢへ）			
		①事業概要 （どんな取組を行うのか）		②活動指標 （取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか）		③中間成果 （①【対象】がどのような 状態に変わるのか）		④最終成果 （大事業の将来像）	
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 6,580人 【事業内容】 学校生活になじめない児童生徒が教育支援センターで安心して過ごすことができ、学校や社会への復帰を目指す。		【アクションプラン指標】 スクールソーシャルワーカーとの定期連絡会実施回数 【その他の指標】 保護者交流会の開催、関係機関との情報交換会の開催、相談件数の増加		教育支援センターへの通所者の増加 （成果指標名） 教育支援センターの通所者割合		大事業共通 就学児のひきこもりをなくす	

活動指標名		単位	基準値（2018年） 目標値（2023年） ※AP指標のみ		区分	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度		
活動指標	1	【アクションプラン事業】 スクールソーシャルワーカーとの定期連絡会実施回数	回/週	基準値	1	見込	1	1	1	1	1	
				目標値	1	実績	1					
	2	【その他指標】 保護者の会「こーひーぶれいく」の実施回数	回/年	基準値		見込	3	3	3	3	3	
				目標値		実績	3					
	3			基準値		見込						
				目標値		実績						
	4			基準値		見込						
				目標値		実績						
	事業開始からの経緯											
	平成13年8月30日に市民野球場内の管理棟に適応指導教室として開設。令和4年4月1日に市役所西側に移転し、名称を教育支援センターに改めた。											
	R5(2023)年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
	令和4年4月1日に教育支援センターは市役所西側に移転して以降、通所者が増加している。											

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		教育支援センターの通所者割合		%	R3 年度		R4 年度		【現状】 R5 年度		R9 年度		R14 年度	
					21		24		19		30		40	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		A	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					学校を長期に欠席している児童生徒のうち教育支援センターに通所している割合						
	評価の理由、分析													
	令和4年4月1日に市役所西側に移転し、通所者が増加した。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性（3年～5年先）		今後の方向性の理由										
		A	A. 現状維持 B. 拡充 C. 縮小 D. 廃止		支援の中核的な役割を果たしていくため相談機能を強化し、保護者等が相談しやすい環境づくりをする。									
		改善ポイント ※今後の方向性がAの場合は記入不要 (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1			☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

R7年度の費用（R6年度比）		（単位：千円）		R6(2024)年度	R5(2023)年度		R4(2022)年度	
A	A. 現状維持 B. 拡充	事業費	予算		予算	決算	予算	決算
	C. 縮小 D. 廃止		20,272		17,493	15,863	15,597	13,488
理由		特定財源	合計額					
通所者は増加しているため。			（内 国費）					
			（内 県費）					
			（内 諸収入）					
			（内 その他）					
積算額		一般財源		20,272	17,493	15,863	15,597	13,488
令和7年度予算の方向性（PLAN）		R6年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R5年度予算額）＞						
報酬10,066,000円 職員手当等3,794,000円 報償費6,000円 旅費417,000円 需用費1,097,000円 役務費133,000円 委託料1,837,000円 使用料及び賃借料2,679,000円 工事請負費173,000円 備品購入費60,000円 負担金、補助及び交付金10,000円		報酬10,066,000円（9,562,000円） 職員手当等3,794,000円（1,919,000円） 報償費6,000円（6,000円） 旅費417,000円（574,000円） 需用費1,097,000円（1,109,000円） 役務費133,000円（133,000円） 委託料1,837,000円（1,378,000円） 使用料及び賃借料2,679,000円（1,822,000円） 工事請負費173,000円（762,000円） 備品購入費60,000円（218,000円） 負担金、補助及び交付金10,000円（10,000円）						